



5月号 令和2年5月7日発行

窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [TEL911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



わたしたちにできることを、それぞれの場所で
～予測が困難な今だからこそ大切にしたいこと～

校長 伊藤 智樹

4月8日からの臨時休業が1ヶ月になろうとしています。2年生以上の子どもたちにとっては、3月3日からの臨時休業となります。子どもたちにとって、学ぶ機会を制限される今までにない状況です。未だ新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、子どもたちや保護者の皆様は、戸惑いや不安なお気持ちで過ごされているのではと思います。私たち教職員も先を見通せない中ではありますが、感染症拡大防止を第一にしながら「私たち教職員にできることは何か」を常に考えていきたいと思っています。



4月21日に日本赤十字社が『ウイルスの次にやってくるもの』という動画をユーチューブにアップロードしました。新型コロナウイルス感染症の次に私たちにやってくる『恐ろしいもの』をテーマにしています。

この動画は絵本のようになっています。最初の手を洗う場面では、「ウイルスから身を守るためには?」「きちんと手を洗うだけで感染する確率はぐんと下がる」「でも心の中にひそんでいて、流れていかないものがある」と音声と字幕で視聴者に語りかけます。それに合わせて、黒いモヤモヤが画面に出てきます。黒いモヤモヤは暗いニュースや間違った情報を食べて育ち、人にささやき始め次々と人から人へ広まりやがて人の心も傷つけていきます。「あの人が病気になったのは誰のせい?」「ウイルスが広まったのはあいつのせいだ!」「世界がこうなったのはあいつのせいだ!」と人と人が傷つけあい、分断が始まります。互いに疑心暗鬼になりたとえ具合が悪くても元気なふりをし、やがて誰が感染しているのかがわからなくなっていきます。黒いモヤモヤの正体は『恐怖』。この動画は、『その恐怖は、ウイルスよりも恐ろしい』と私たちに伝えているのだと思います。動画の最後には、恐怖に立ち向かう具体的な方法を提案しています。



「恐怖は、誰の心の中にもいる。『だから励ましあおう』『人は団結すれば、恐怖よりも強く、賢い』」「今日、わたしたちにできることを、それぞれの場所で。」

新型コロナウイルス感染症が世界に混乱をもたらし、日本でも緊急事態宣言が出されるなど今までにない状況が続いています。そのような状況下だからこそ、『今日、わたしたちにできることを、それぞれの場所で』実行していくことが大切であるとこの動画は語りかけているように感じました。



臨時休業が5月31日まで延長になったことに伴い、当初予定していた学校の年間計画についても変更や中止等を含めた見直し、臨時的な対応をせざるを得ない状況になっています。

毎年実施していました6月13日の土曜参観については、今年度は実施しません。そのため6月16日(月)は学校再開の場合は授業日とします。また、夏休み前に予定していた4年生以上の宿泊行事を全て秋以降に変更します。宿泊行事に関しては今後の情勢により再度の変更や見直し等があるかもしれません。決まり次第あらためてお知らせいたします。昨年度3月分の学習内容を含め新学年の学習につきましてもできることから取り組んでいきたいと思っています。その他の行事等につきましてはその都度メール配信や学校HP等でお知らせしていきたいと思っています。

「11日以降の一斉臨時休業の延長について」のプリントでもお知らせいたしましたが、11日からの週と25日からの週で学習や生活の様子を把握するために学級担任からご家庭へ2回お電話をさせていただきます。その他何かご相談がありましたら学校までご連絡していただければと思います。

子どもたちの健康・安全を第一に考え学校として対応して参ります。